

12
DEC.

広報あおば

第8号

2022年12月15日発行

- 発行：青葉台町会協議会
市原市青葉台2-24-9
- 編集：広報委員会

震度6強の地震発生を想定した Bブロック避難所開設訓練開催!!

【日時】11月6日(日) 13:00~15:30

【場所】姉崎東中体育館

【想定】午前8時、震源地千葉県北西部、震度6強、
マグニチュード7.3の地震が発生

地区防災計画が、昨年12月策定され、A、Bブロック隔年で実施していた避難所開設訓練は、同一年で行うことになりました。



コロナ禍で中止していたこともあり、Bブロックは4年ぶりの実施となります。

早崎運営本部長の指示で訓練がスタート。6~8丁

目、ダイア町会役員で担当する総務、情報、施設管理、食料・物資、保健衛生など各班の持ち場を順次、訓練実施しました。断水でトイレが使えない想定で簡易トイレ設置やダンボールベッドの組み立てなど新たな対応訓練も設けられています。今回、会場提供いただいた姉崎東中の協力のもと、防災サポートチーム、市役所など関係者から指導を受けながら皆さん真剣に取り組んでいました。

なお、12月4日(日)にはAブロックの避難所開設訓練が青小体育館で行われ、1~5丁目役員が同様の訓練を行いました。(鳥海)



第20回青葉睦会作品展開催!! 220点以上の作品が一堂に展示



青葉睦会の第20回作品展が11月20日に青葉台自治会館にて開催されました。

午後からはあいにくの雨でしたが、小さな子供から年配の方まで273名の方が来場され、1階と2階の会場を行き交う盛況さでした。青葉台の方々の絵画、手工芸、写真といったアート作品はもとより、青葉台小学校~姉崎東中学校~姉崎高校の児童生徒からも寄木細工をはじめ心温まる水彩画など、合わせて220点以上の作品が寄せられています。いずれも出品者の方の思いの詰まった作品で、来訪者の方も芸術の秋を堪能されていました。(田中)

市原市清掃事業者表彰を 青葉睦会4丁目清掃隊が受賞!!

10月30日に令和4年度市原市清掃事業感謝状贈呈式が市原市役所で行われました。

今年度は12名、18団体への表彰で、姉崎地区からは青葉睦会4丁目清掃隊が受賞しました。同清掃隊は平成15年以来、20年間に渡り青葉台4丁目(自治会館横)にある「堰頭公園」の清掃を毎月1回、約1時間の落ち葉清掃や側溝の溝浚い等で、公園美化管理に大きな役割を果たしてきました。4丁目睦会は現会員21名、清掃隊には13名が登録をしています。今年度は公園の法面に、町会と姉崎高校生ボランティア委員会の協力で花壇を造り、花苗を植栽しました。会員の高齢化もあり、今後は町会と協力し親子で、公園の清掃を通じて雑談をする等の交流の場にしていきたいと受賞をきっかけに考えています。(4丁目青葉睦会)



青葉台39プロジェクト
分野:美しい街づくり 課題:ohanaいっぱい活動
"ohanaいっぱい活動"の難しさ

10月30日の植替えは予定していた自前の苗が思った通り成長せず、市からの支給苗が主となりました。自前苗は今少し成長を待って11月後半以降にかけて順次植替えを実施しています。今回の育苗の見込み違いの原因は日照不足、気温、雨等々天候の影響もありましたが、新規育苗者の経験不足もその一因であったと考えられています。次回への良い経験となりました。また1丁目にあるapollo cultivate parkに苗作り場を借りられることになり、来年度の苗作りの強力なサポートになるでしょう。

ともあれ、ビオラ、パンジー、クリサンセマム、桜草、忘れな草、袋などこ等植替えの済んだ花壇では、少しずつですが可憐な花が咲き始めています。忙しい年末の寒さの中で少しでも皆様の心を和ませ、温めるような花壇になってくれればとメンバー一同は楽しみながら努力しています。(石原)



貴重なご意見続出で大盛況
第1回3丁目女子会(女性の声を聴く会)開催!!



3丁目古寺町会長の発案で、町会にもっと女性の声を反映させようと、回覧板で募集しました。6名の方の申し込みがあり、11月9日(水)午後ノアール会議室にて、第1回3丁目女子会を開催しました。

フリートークの結果、皆さんからは、高齢者の交通手段、介護施設選択の情報、新しい仲間を増やしたい、手ぶらで買い物をしたい、緊急時の親族との連絡など10数件に昇る要望や疑問点が出されました。会長からは、改善できるものは即実施し、時間のかかるものは検討経過を回覧等で報告したいとコメントがありました。第2回目も予定されており多数の参加を期待しています。(石原)

他自治会(柏市・袖ヶ浦市)の視察研修団体来訪

◆10月14日13:30~16:00/

柏市ふるさと協議会連合会、21のコミュニティーエリアの会長及びその他の役員計41名来訪



◆11月16日13:30~16:00/

袖ヶ浦市の連絡協議会8名及び同市役所市民協働推進課3名来訪



▲壁新聞に見入る研修団の皆さん

袖ヶ浦市の連絡協議会からは、あしたのまち・くらしづくり内閣総理大臣賞受賞直後に視察研修の申し込みがありましたが、コロナ禍のため1年越しの実現となりました。

ました。自治会館で、古寺会長、田中39PJ事務局長以下39PJ事務局メンバーが対応しました。

まず、古寺会長、吉岡連絡協議会会長双方の挨拶があり、浜中さんによる39PJの説明。その後、徒歩にてノアール見学及び恒例となりました古寺会長自ら淹れたコーヒー(有料)は、その場で召し上がるなり、テイクアウトも可。再び自治会館に戻り、39PJ各チーム活動を記した壁新聞を閲覧、質疑応答へ。人材の育成、防犯活動、イベント企画見直し、行政との関係づくり、福祉事業などについて質疑が交わされ今後も問題解決に向け相互協力していくことで無事終了しました。(藪木)

